



学年末考査 特集号

教科	平均点	教科担当者からのコメント
国語	77.5点	<p>◆ 今回、基礎基本として身に付けてほしかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択肢は「なんとなく」で選ばない ・本文に書いてあるかどうかで判断する ・「必ず」「すべて」「常に」などの言葉に注意する <p>◆ 基礎基本を身に付ける勉強法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読解問題は「なぜそれが正解か」を説明できるまで考える ・間違えた問題は、必ず本文に戻る ・要旨を一文でまとめる練習をする <p>◆ 発展に取り組みたい人へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の社説や評論文を読む ・古典の現代語訳を「自分の言葉で」まとめる ・自分で選択肢を作ってみる <p>本当に力が伸びるのはここからです。</p> <p>◆ 来年度に向けて、今年度中にしてほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中1・中2の教科書の評論文をもう一度読む ・漢字検定準2級レベルの確認 ・「書く力」を落とさないこと <p>高校では、読解量が一気に増えます。</p>



数学	50.7点	<p>◆ 今回、基礎基本として身に付けてほしかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大問1の基本の計算問題です。高校では「わかっていて当たり前」と判断されてしまいます。 <p>◆ 計算ミス減らすための具体的方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途中式を書くこと。これが一番です。 ・方程式であれば、解を元の式に代入する。 <p>◆ 応用問題に取り組みたい人への学習法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数値でやっていた問題を、抽象化する。 <p>例：関数 $y = 2x^2$ で、x の値が2から5まで増加したときの変化の割合を求められるなら、s から t まで増加したときの変化の割合を求めてみる。</p> <p>そうすると、新しい性質が見えてきます。</p> <p>◆ 高校数学に向けて今やるべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兎にも角にも基礎の定着です。高校では、中学で学んだことを土台にして、数学の世界をさらに広げます。土台がぐらつくと、理解することは難しいです。
英語	58.8点	<p>◆ 文法学習への取り組み方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文法は意味・形式・使い方の3要素に分けられます。意味とは文字通り、その英文法が持つ意味です。形式とは、主語や文脈に応じて形が変化することを指します。 <p>例) 助動詞の後は必ず動詞の原形が入る。</p> <p>使い方とは、特定の文法がどういう文脈や話の流れで使われるのかということの意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法がわからないと感じる人は、意味・形式・使い方のいずれかが理解できていない可能性があります。3要素を意識しながら、英文法を理解することが大切です。

		<p>◆<u>語彙の定着</u></p> <p>・単語を覚えるためには、まずは正しい発音を聞くことが大切です。リスニング・スピーキングをするうえでも、スペルを覚えやすくするためにも欠かせません。音を聞く→自分で発音練習(まね)をする→スペルを書くという一連の流れで学習してみてください。</p> <p>・発音や綴りが難しい単語は、絵や写真などをイメージしながら練習をすると、単語の習得率が高くなります。</p>
社会	55.3点	<p>◆<u>教科の目標</u></p> <p>社会の仕組みや成り立ちを理解し、現代社会の課題を多角的・批判的に考察・解決し、主体的に社会に参加できる力を養うことを目指します。</p> <p>◆<u>基礎・基本の確実な定着</u></p> <p>そのためには、基礎・基本をしっかりと身につけることが必要です。根拠に基づかない考えは、単なる思いつきに過ぎません。今回の考査では、選択式の発問でこの力を測りました。教科書の内容をしっかりと理解すると共に、日頃から世の中の動きにも関心を持ちましょう。</p> <p>◆<u>思考力・判断力・表現力の育成</u></p> <p>論述での出題です。「なぜ、どうして」という問題意識をもって論理を組み立てていきましょう。複数の資料を読み取る問題では、相互の関連を考えて結論を導きましょう。</p>
理科	47.6点	<p>・計算問題の定着は上がってきている。</p> <p>・理科用語の定着も向上した。</p> <p>・複合的な問題が出題されたときに、個々に分析する力がやや欠けている。</p> <p>・基礎力の向上がみられるので、丁寧に順序だてて考察していけると良いと思います。</p>

技・家	71.6	<p>・授業プリント・ノートを見返すだけで終わらせない。 重要語句に赤線、横に「自分の言葉の説明」を1行で書く</p> <p>・ミス进行分类して直す</p> <p>・用語のミス(漢字・言い間違い)・手順ミス(順番・抜け)・根拠不足(なぜ?が書けていない)</p> <p>・1問1答より短文説明を増やす 例:「～とは?」を20秒で説明できるようにする。</p>
保体	59.1点	<p>◆<u>記述問題への取り組み方</u></p> <p>・問題文をよく読み、理由と結果を明確に記述できるようにしましょう。</p> <p>・記述した後に読み直す癖をつけましょう。勢いで書いた文章は意味が通りにくい場合があります。</p> <p>◆<u>動きのイメージと言語化</u></p> <p>・自分の動きを正しく言語化できますか。動きを正しく理解するのはテストだけでなく、動きの上達につながります。今後も学習カードや授業の中で、自分の動きを客観的にとらえる力は必要になります。ぜひ、この機会に練習してみてください。</p>

今回の結果から見えてきたのは、

- ・基礎力は非常に高い
- ・しかし「思考の深さ」で差が出るという現状です。

高校では、「覚えているか」ではなく「考えられるか」が問われます。

この学年には、その土台があります。

あとは一段深く考える習慣を身に付けるだけです。

中学校3年間の学びを高校でもいかしていきましょう!!期待しています☆